

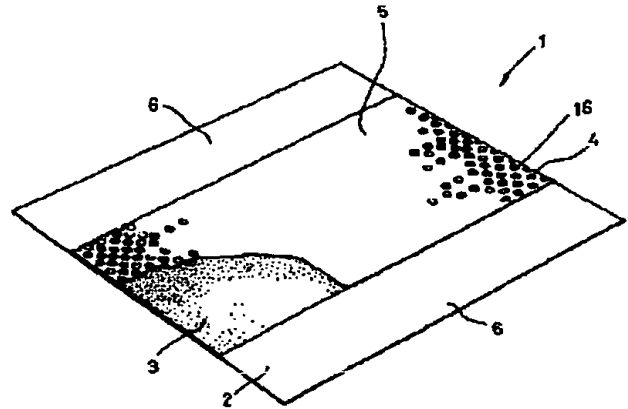
EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

cited in the European Search
Report of EPO/A 12 3399 G
Your Ref.: P00-003-EP/01/13

PUBLICATION NUMBER : 09224895
PUBLICATION DATE : 02-09-97
APPLICATION DATE : 28-02-96
APPLICATION NUMBER : 08067317

APPLICANT : UNI CHARM CORP;
INVENTOR : TOMITA KATSUJI;
INT.CL. : A47L 13/16
TITLE : SHEET FOR CLEANING



ABSTRACT : **PROBLEM TO BE SOLVED:** To obtain a sheet for cleaning which has the excellent holding power of dust and slips well on a floor surface by boring a relatively weakly tacky adhesive or non-tacky adhesive sheet with many through-holes and joining the sheet to a relatively the strongly tacky adhesive sheet.

SOLUTION: The sheet 1 for cleaning is composed of a base material sheet 2 made of a non-woven fabric, an intermediate sheet 3 which is tacky adhesive on both front and rear surfaces and a front surface sheet 5 of a meshed fabric which is weaker in tacky adhesiveness than the sheet 3 or has no tacky adhesion at all. The front surface sheet 5 has the many through-holes 4 and the tacky adhesive surface on the front surface side of the intermediate sheet 3 faces the through-holes 4. The relatively light dirt, such as dust, is entangled with the non-woven fabric fibers constituting the front surface sheet 5 of the sheet 1 for cleaning constituted in such a manner and if the front surface sheet 5 is has the tacky adhesion, the dirt is captured by the tacky adhesiveness. The relatively heavy dirt, such as sand grains, having the shapes to be hardly entangled with the fibers is admitted into the through-holes 4 of the front surface sheet 5 and is captured by the tacky adhesive surface of the intermediate sheet 3 in the through-holes 4.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO



(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-224895

(43) 公開日 平成9年(1997)9月2日

(51) Int.Cl.⁶

A 4 7 L 13/16

識別記号

庁内整理番号

F I

A 4 7 L 13/16

技術表示箇所

C

審査請求 未請求 請求項の数 5 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平8-67317

(22) 出願日 平成8年(1996)2月28日

(71) 出願人 000115108

ユニ・チャーム株式会社

愛媛県川之江市金生町下分182番地

(72) 発明者 冨田 勝司

香川県観音寺市柞田町乙1364

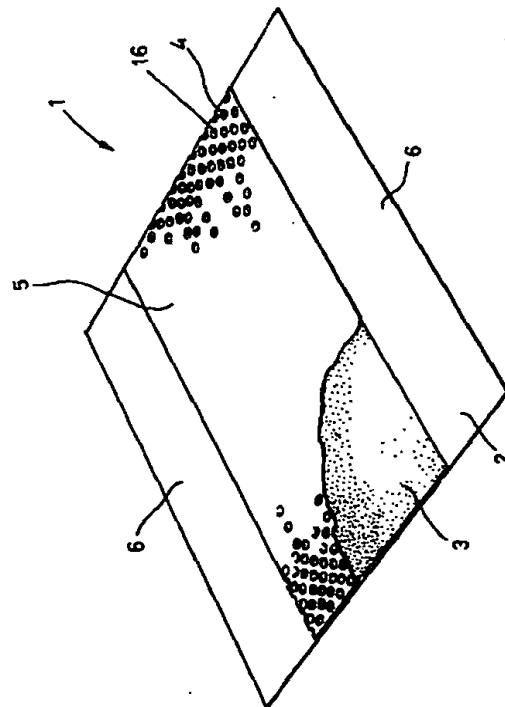
(74) 代理人 弁理士 白坂 吉治

(54) 【発明の名称】 掃除用シート

(57) 【要約】

【課題】 床面に対する滑りがよく、しかもごみの保持力が強い掃除用シートを得る。

【解決手段】 汚れやごみを拭き取るための掃除用シート1の少なくとも片面が、弱粘着性または非粘着性の第1面域5と、強粘着性の第2面域4とからなり、第1面域5が床面に接触したときに第2面域4は床面から上方へ離間した位置にある。



【特許請求の範囲】

【請求項1】床面の汚れやごみを拭き取るための掃除用シートであって、

前記シート両面の少なくとも一方が第1領域と、該第1領域が床面に接触したときにその床面から離間して上方に位置する第2領域とからなり、前記第1領域が相対的に弱粘着性または非粘着性であり、前記第2領域が相対的に強粘着性であることを特徴とする前記掃除用シート。

【請求項2】前記シートが、基材シートと、該基材シート両面の少なくとも一方に接合する両面粘着シートと、該粘着シートに接合するメッシュ地とからなり、該メッシュ地の上面が前記第1領域を形成し、該メッシュ地からのぞく前記粘着シート部分が前記第2領域を形成している請求項1記載の掃除用シート。

【請求項3】前記第1領域と第2面とが少なくとも一方方向に交互に配置されている請求項1記載の掃除用シート。

【請求項4】前記第1領域と第2領域とがそれぞれ同方向に連続的に延びている請求項1記載の掃除用シート。

【請求項5】前記第1領域の厚み方向の弾性が前記第2領域のそれよりも高い請求項1記載の掃除用シート。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明が属する技術分野】この発明は、床面の汚れやごみを拭き取るための掃除用シートに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、この種シートとして、不織布を起毛したものや不織布に油剤を含浸させたもの、基材となるシートに粘着剤を塗布したもの等が周知である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】前記周知の掃除用シートのうち、不織布を起毛したものは、床面に対する滑りはよいが、砂粒等のような比較的重いごみを保持する力に劣るから、そのようなごみの拭き取りには適さない。不織布に油剤を含浸させたものは、ごみの保持力が向上するものの、それでも十分とは言えない場合がある。粘着剤を使用した掃除用シートは、ごみの保持力が優れてはいても、その粘着性のゆえに床面に対する滑りがよくない。加えて、この掃除用シートは、手にくっつくことがあるから、時によって取り扱いにくいことがある。

【0004】そこで、この発明は、ごみの保持力に優れ、床面に対する滑りがよく、しかも、手にくっつくことがなくて取り扱いが容易な掃除用シートを得ることを課題にしている。

【0005】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するためにこの発明が前提とするのは、床面の汚れやごみを拭き取るための掃除用シートである。かかる前提において、この発明が特徴とするところは、前記シート両面の少な

くとも一方が第1領域と、該第1領域が床面に接触したときにその床面から離間して上方に位置する第2領域とからなり、前記第1領域が相対的に弱粘着性または非粘着性であり、前記第2領域が相対的に強粘着性であることにある。

【0006】

【実施例】添付の図面を参照して、この発明にかかる掃除用シートの詳細を説明すると、以下のとおりである。

【0007】図1に部分破断斜視図で示す掃除用シート1は、不織布製の基材シート2と、上下両面が粘着性の中間シート3と、シート3よりも粘着性が弱い、または、粘着性が全くないメッシュ地の表面シート5とによって構成されている。表面シート5は、多数の透孔4を有し、中間シート3を介して基材シート2に接合し、透孔4には、中間シート3の上面側の粘着面がのぞいている。図示の中間シート3と表面シート5とは、ほぼ同形同大で重なり合い、基材シート2は、それらシート3、5と長さが同じであるが、幅が広く、シート3、5の左右側縁から延出する側縁部6を有する。

【0008】図2は、床面掃除用の器具11に取り付けられた掃除用シート1の斜視図である。器具11は、板状部13と、板状部13に枢動可能に取り付けられた腕部14とからなる。掃除用シート1は、板状部13の下面に当てがわれ、側縁部6が板状部13の上面に折り重ねられて、クリップ8で若脱可能に止着されている。かかる器具11は、腕部14を持ち、掃除用シート1の表面シート5で床面を拭くことができる。

【0009】器具11に取り付けられた掃除用シート1では、ほこり等の比較的軽いごみが表面シート5を構成する不織布繊維に絡み付くことによって、また表面シート5に粘着性があるときにはその粘着性によって捕捉される。砂粒等の比較的重く、形状が繊維に絡みつきにくいごみは、表面シート5の透孔4の中に入り、透孔4内における中間シート3の粘着面において捕捉される。表面シート5に使用する不織布は、ゴミの捕捉が容易となるように、それに起毛処理を施したり、捲縮繊維を使用したり、嵩高なものにしたり、油剤を含浸させたりすることができる。また、表面シート5は、その厚みによって、透孔4の深さを変えることができるが、その厚み方向への弾性（クッション性）が比較的好く、掃除用シート1の使用時に、透孔4の深さにかかわらず、中間シート3の粘着面が床面に適宜近接するようにしてあることが好ましい。この掃除用シート1では、透孔4の縁部16が床に付着したごみをかき取るように作用し、かき取ったごみは透孔4で捕捉することができる。

【0010】このように使用される掃除用シート1の表面シート5は、床面に対する滑りがよくなるように、粘着性が中間シート3のそれよりも弱くしてあるか、または、粘着性を有していない。

【0011】掃除用シート1を器具11に取り付けると

きには、指が中間シート3に触れないように基材シート2と表面シート5とを持てば、指は粘着面にくっつくことがない。掃除用シート1は、それが器具11に取り付けるものではなくれば側縁部6を省き、中間シート3や表面シート5と同形同大のものにすることができる。

【0012】図3は、この発明の実施態様の一例を示す図1と同様の図面である。この掃除用シート1では、図1の表面シート5に代わって中間シート3を被覆する多数の円盤17が床面に接触する。円盤17は、中間シート3の上面に互いに四方向へ離間して配設されており、個々の円盤17は、所要厚みの不織布やフェルトを打ち抜くことにより形成されている。かかる掃除用シート1を図1のそれにと比べると、このシート1では、床面を拭いたときにゴミが隣り合う円盤17どうしの間に入ってシート1の中央部に達し、そこで円盤17の側面や中間シート3に捕捉される機会が多くなる。それゆえ、シート1の面積全体を効率よく利用することができる。

【0013】図4は、この発明のさらに他の実施態様を示す図3と同様の図面である。この掃除用シート1では、円盤17に代わって一方向に互いに平行に延びる複数の帯片18が中間シート3を被覆し、床面に接触する。かかる帯片18には、所要厚みの不織布やフェルト等の繊維からなるシートを所要幅に裁断したもの、フィラメントや割裂繊維等で比較的径の大きいものまたはそれらの束などを使用することができる。

【0014】この発明において、粘着面を覆い、床面をこするために使用される図1の表面シート5や、それに代わる図3、4の円盤17、帯片18は、中間シート3に対してこのシート3の粘着力によって接合していればよい。中間シート3と表面シート5とは、基材シート2

の両面にあって、掃除用シート1の片面が汚れたなら、それを裏返して使用できるようにしてもよい。基材シート2や中間シート3には、図示例の他に、適宜のシート材料を使用することができる。

【0015】掃除用シート1は、床面の掃除に適したものではあるが、壁面や天井面等の適宜の場所の掃除に使用することができる。

【0016】

【発明の効果】この発明に係る掃除用シートは、その汚れ拭き取り面が床面に接触する弱粘着性または非粘着性の面と、床面に接触しない強粘着性の面とで構成されているから、床面に対する滑りがよく、しかも強い捕捉力を有する。かかる掃除用シートは、手にくっつくことがないから、その取り扱いが容易である。

【図面の簡単な説明】

【図1】掃除用シートの部分破断斜視図。

【図2】使用状態にある掃除用シートの斜視図。

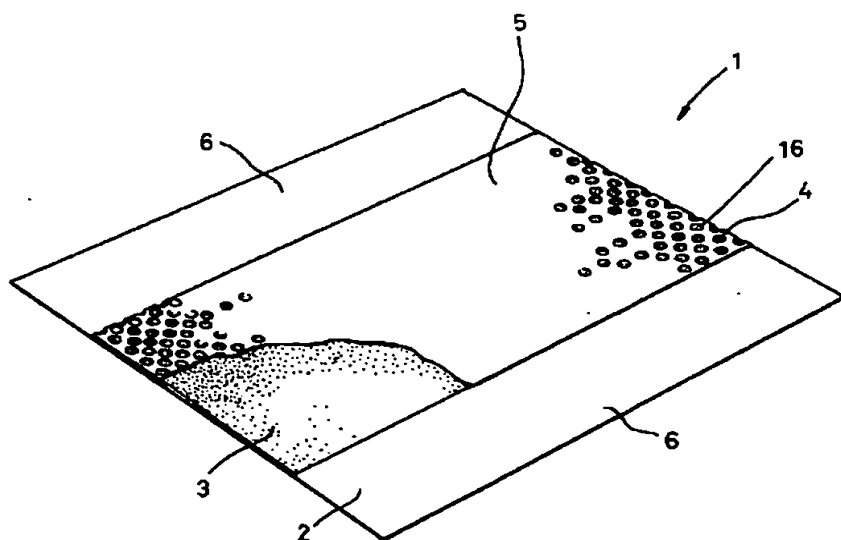
【図3】この発明の実施態様の一例を示す図1と同様の図面。

【図4】この発明の実施態様の他の一例を示す図1と同様の図面。

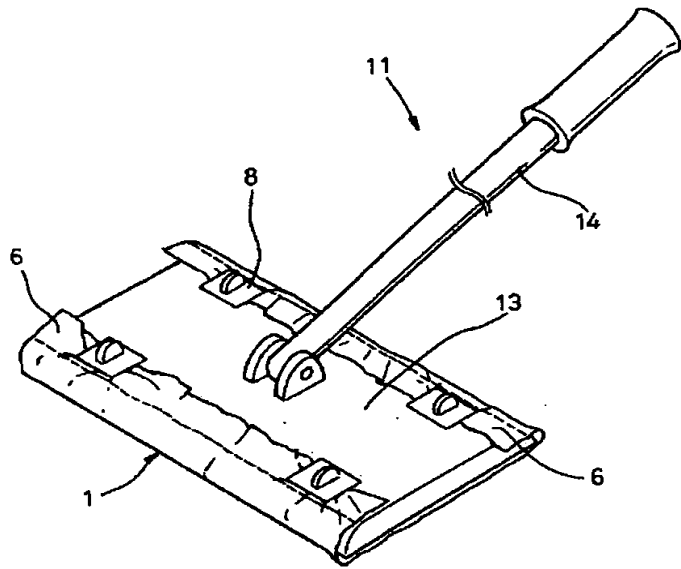
【符号の説明】

- | | |
|----|----------------|
| 1 | 掃除用シート |
| 2 | 基材シート |
| 3 | 中間シート（両面粘着シート） |
| 4 | 第2面域 |
| 5 | 第1面域（不織布） |
| 17 | 第1面域（円盤） |
| 18 | 第1面域（帯片） |

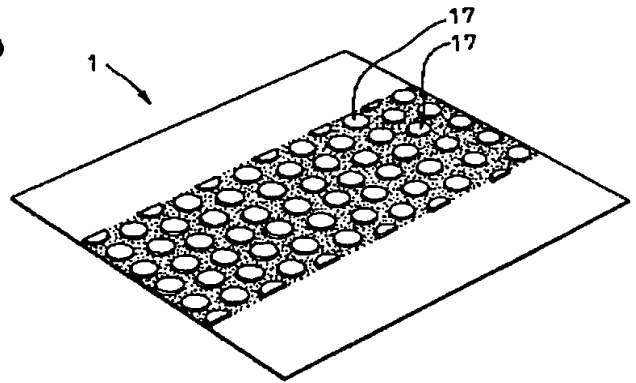
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

